

名古屋大学グローバルネットワーク

国際交流グループ

2017年度活動報告書



# 名古屋大学グローバルネットワーク

## 2017 年度活動報告書

1. 名古屋大学グローバルネットワーク（国際交流グループ）紹介
2. スモールワールド・コーヒーアワー活動報告
3. プレゼンテーションアワー活動報告
4. ヘルプデスク活動報告
5. 留学のとびら活動報告
6. English College
7. 異文化交流サークル ACE 活動報告
8. NUFSA 名古屋大学留学生会 活動報告



# 名古屋大学グローバルネットワーク（国際交流グループ）

名古屋大学ではキャンパスの国際交流を活発にするために  
学生が主体となって様々な交流活動をしています。  
そんな活動を一緒にサポートしてくれる仲間を募集しています。  
学生の皆さんの参加をお待ちしています！

## スモールワールド・コーヒーアワー（Small World Coffee Hour）

コーヒーやお茶を片手にリラックスした雰囲気の中で留学生と一般学生が出会い、文化や学生生活に関することなどを気軽に話し合える国際交流の場を毎月（学期中）に開催しています。楽しい文化交流の場を一緒に作ってくれる仲間を募集中です！

（問い合わせ）国際教育交流センターアドバイジング部門（IB 電子情報館西棟 739 号室）

Email: isa@iee.nagoya-u.ac.jp

URL: <http://acs.iee.nagoya-u.ac.jp/program/smallworld.html>

facebook: [www.facebook.com/meidaicoffeehour](http://www.facebook.com/meidaicoffeehour)

## プレゼンテーションアワー（Presentation Hour）

国際色豊かなプレゼンテーションを通して、アカデミックな交流の場を年に1～2回開催しています。プレゼンテーションの内容は、研究、専門、趣味、異文化・留学体験、マイブームなど多岐に渡ります。プレゼンター、または運営スタッフとして一緒に活動してくれる仲間を募集中です！

（問い合わせ）国際教育交流センターアドバイジング部門（IB 電子情報館西棟 739 号室）

Email: isa@iee.nagoya-u.ac.jp

URL: <http://acs.iee.nagoya-u.ac.jp/program/smallworld.html>

facebook: [www.facebook.com/meidaicoffeehour](http://www.facebook.com/meidaicoffeehour)

## ヘルプデスク（Help Desk）

各学期の最初の3週間、国際棟のラウンジに設置するヘルプデスクを拠点に、新規来日した留学生へのサポート活動を行っています。また、留学生との交流のきっかけになるようなイベントも企画しています。留学生が気軽に立ち寄れる場を一緒に創ってくれるボランティアを募集中！

（問い合わせ）国際教育交流センター交換留学受入室 NUPACE Office（国際棟 103 号室）

Email: [nagoyaunivhelpdesk@gmail.com](mailto:nagoyaunivhelpdesk@gmail.com)

## 留学のとびら (Gateway to Overseas Studies)

留学のとびらは、交換留学、語学留学など色々な形の「留学」を経験した名大生による、将来の名大留学候補生をサポートする団体です。毎年の留学フェア、留学相談会を主催、その他留学に関連する様々な企画立案しています。留学は現地に行ってみないとわからないことがたくさんです。留学に興味があるけど不安、実際に留学経験者の話を聞いてみたい、という人は是非イベントなどに参加してみてください！また、「留学経験を後輩の役に立てたい」という経験者の参加もお待ちしています！

(問い合わせ) 国際教育交流センター海外留学部門 (国際棟 107 号室)

Email: ryugakunotobira@gmail.com

URL : <http://amebaryutobi.amebaownd.com/>

facebook: <https://www.facebook.com/ryugakunotobira/>

Instagram: studyabroad

## English College

English College は英語を話す機会をすべての人に提供することを目的とした国際教育交流センターの学生サークルです。昼食時に英会話で盛り上がり、英語でディスカッションをしたりと、様々なイベントを定期的に開催しています。どの学年からも気軽に参加できます。

(問い合わせ) 国際教育交流センター海外留学部門 (国際棟 107 号室)

facebook: <https://ja-jp.facebook.com/nuenglishcollege>

(開催場所) 国際棟 空いている教室で開催しています

(活動日時) お昼休み (要問合せ)

## 異文化交流サークル ACE (Action Group for Cross-Cultural Exchange)

ACE では、「交流・架け橋・ボランティア」の三大理念を掲げ、活動を行っています。毎年4月、10月頃に名古屋大学に来る留学生に対し、入寮のサポートやウェルカムパーティー等を開催したり、他にも1年を通じて留学生と一般学生との交流を図るイベントを行ったりすることで、留学生が日本での生活を楽しめるよう少しでも力になりたいと考えています。いつでも誰でもお気軽に参加して下さい！

(問い合わせ) URL: <http://ace.tuzikaze.com>

facebook: <https://www.facebook.com/Events-of-ACE-293892397287990/>

## NUFSA 名古屋大学留学生会 (Nagoya University International Student Association)

名古屋大学の留学生や一般学生など多様なメンバーで構成されている留学生会です。名古屋大学で学ぶ留学生が楽しく留学生活を送れるようサポートしたり、国際交流イベントを開催しています。参加お待ちしております！

(問い合わせ) Email: [nufsa.nagoya@gmail.com](mailto:nufsa.nagoya@gmail.com)

facebook: <https://www.facebook.com/nufsajp/>

# スモールワールド・コーヒーアワー Small World Coffee Hour

## 2017 年度 活動報告

総合文責：岩崎絵里加

### 1. 団体紹介

Small World Coffee Hour はイベント「Small World Coffee Hour」(以下、コーヒーアワー)を企画・運営する団体である。留学生・日本人学生を問わず、様々な所属・学年の人が出会い繋がることのできる場を提供することを目的として、2005 年後期に発足した。以降、イベント内容に工夫を凝らし、組織運営を円滑化することで、10 年以上継続するに至っている。2017 年度は運営スタッフの人数が増え、ミーティングやイベントに活気が生まれた。

#### 1.1 理念

留学生や国内学生をはじめとする様々な文化的背景を持つ人たちに、学内での交流の場を提供することを目的としている。それぞれの文化的背景を考慮した、誰もが楽しめるイベントを行えるよう心掛けている。

#### 1.2 特徴

- ・有志の学生が中心となって活動している。(学部・学年・国籍は問わない)
- ・誰でも参加できるオープンなイベントを月に 1 度のペースで開催できるよう企画・運営をしている。
- ・イベントでは、参加者同士が話すきっかけとなるようなテーマやアクティビティを実施している。

### 2. 活動紹介

#### 2.1 活動について

##### 2.1.1 ミーティング

週に 1 度の頻度で行い、企画書をもとにして、その月のコーヒーアワーのテーマや内容、役割分担、会場のレイアウトなどを決めている。各ミーティングでは、議事録を作成し、参加できなかったメンバーも内容を共有できるようにしている。

##### 2.1.2 広報活動

各イベントのポスターを、各学部および研究科・国際教育交流センター・生協・食堂・中央図書館などに掲示した。コーヒーアワーの Facebook ページでイベントごとにイベントページを作成し、メンバーの知り合いを招待した。国際教育交流センター所属の教員に、講義の中でコーヒーアワーの活動を紹介してもらおうよう依頼した。

## 2.2 コーヒーアワーについて

### 2.2.1 当日の動き（目安）

15:00 国際棟給湯室にてコーヒーを準備/会場で企画書に沿って設営開始

16:15 受付開始

16:30 イベント開始

18:00 イベント終了、片付け

18:30 振り返りミーティング

### 2.2.2 本年度の工夫点

例年は毎月1回、年間では計8回ほど、イベントを行っていたが、今年度は運営メンバーの都合で5・6・10・1月のみの開催となった。運営メンバーが増えたため、イベントを開催しなかった月は、運営メンバーやコーヒーアワーのことを理解し合うためのワークショップを行った。また、昨年度から始めたワールドカフェというディスカッション型交流企画を今年度も継続して行った。

## 3. 年間行事記録

### 【5月コーヒーアワー World Tea Tasting】

文責：川村彩

日時・場所：5月26日（金）16:30～18:00 @国際教育交流センター1階ラウンジ

参加人数：約80人

イベント概要：世界のお茶を題材としてリラックスした雰囲気の中参加者同士が交流できるイベントを企画した。具体的な企画としては、煎茶、ほうじ茶、抹茶など様々な種類のお茶とそれに合ったお菓子を準備し、試飲会をした。また、お茶にまつわる様々な質問を書いた大きな紙を準備し、それに対する答えを参加者に書き込んでもらった。

実施した感想：参加者が多く全体的に盛り上がっていた。「世界のお茶」というテーマが会話に繋がりがやすく、特に模造紙に書かれた質問により会話がどんどん進められていると感じられた。

気づいたこと（改善点など）：学期で一番初めの企画ということもあり参加者が多かった。しかし受付での対応がスムーズではなかったため、受付の方法を変えるべきではないか。また、座る席を準備しておらず会場内を自由に移動しやすかったためか、参加者同士の交流が盛んであった。



【6月コーヒーアワー ワールドカフェ】

文責：木下悟

日時・場所：6月24日（金）16:30-18:00 @国際教育交流センター1階ラウンジ

参加人数：約70人

イベント概要：ワールド・カフェと呼ばれる対話方式を取り入れて様々なバックグラウンドを持つ人々の交流を図る企画。お菓子や飲み物を飲みながら、リラックスした雰囲気の中で、参加者同士が「名古屋大学」というトピックについて話し合った。参加者は6-7つのグループに分かれ、グループごとにトピックについて話し合った。この際、テーブルごとに、英語、日本語、日英ミックスと喋る言語を設定し、言語によって起こる交流の障壁ができないようにした。20分を1セッションとし、3セッション行った。1セッションごとにグループメンバーを入れ替えることで、参加者がより多くの人と話し合いを楽しめるようにした。また、参加者が話し合いを円滑に進められるよう、各テーブルに模造紙を用意した。そうすることで、新しいセッションが始まった際に先のセッションでの話し合いの結果を元に新しい会話が始められる、という狙いがある。また、コーヒーアワースタッフは各テーブルに入ってファシリテーターとして会話の促進を行い、スタッフがファシリテーションに集中できるように、当日の流れや留意点をあらかじめシートにしておいた（表1参照）。

実施した感想：トピックが「名古屋大学」だったこともあり、多くの学生が会話についていけなくなることも特になく、主体的に参加できたように感じた。参加した留学生たちの満足度も高く、こういった対話方式での交流の好きな留学生が多いという印象を受けた。

気づいたこと（改善点など）：この企画は参加者の満足度も高く、リピーターも多いため、毎回、参加者人数が多い。そのため、テーブルに入るスタッフの数が足りず、テーブルによっては人数が多すぎて声が聞こえなくなることやテーブル内の全員が会話に入りきれないことなどの問題が生じた。スタッフの募集を行うことでファシリテーターの数を増やすことや、会場のテーブル数を増やし、1テーブルあたりの人数を制限することで、問題の解決をした。

表 1. 6月コーヒアワー「ワールド・カフェ」当日の流れ（一部原本より改定）

15:00	<p>コーヒー作り、会場設営（必要であれば、椅子を201から持って来る）          ワールド・カフェ用テーブル6つ準備、椅子を6つずつ置く          飲み物コーナーをポット周辺に作る          お菓子を各テーブルに置く（紙皿を利用）</p>		
16:30	<p>司会（司会挨拶、ワールドカフェと流れの説明）          ・写真撮影、取材について伝える。映りたくない人がいたら、先生まで。          ・使いたい言語の場所に分かれてもらう。バランスを見て、人数的に調整が必要であれば、調整する。落ち着いたら、座ってもらう→各テーブルホストは、「こちらにどうぞ!」と誘導。          テーブルホスト：1日本語 2日本語 3英語 4英語 5ミックス 6ミックス</p>	全体司会	模造紙、 テーブル番号、ペン、 ひとこと感想シートなどを各テーブルに準備
16:45	<p><b>テーマ：名古屋大学</b>          サブトピック          (1) 名古屋大学のおすすめ          (2) 名大Lifeを楽しむコツ          (3) 名大がこうなったらいいな  <u>第1ラウンド 16:45-17:00【名古屋大学のおすすめ】</u>          ・簡単に自己紹介をしてから、テーマについて話ができるように促す          ・ペンを参加者ひとりずつに渡す。思いついたキーワードや絵などを自由に書いてくださいと伝える。（後で、他の人がみたときに、どんな話をしたかイメージしやすいように・・・）          ★ホストは残り、他の参加者は行きたいテーブルに移動（5分）          （飲み物などを紙コップに入れて補充するように勧める）  <u>第2ラウンド 17:05-17:25【名大Lifeを楽しむコツ】</u>          ・簡単に自己紹介をしてから、前にどんな話が出たかを少し紹介する          ・ペンを参加者ひとりずつに渡す。テーマについて話ができるように促す          ★ホストは残り、他の参加者は行きたいテーブルに移動（5分）          （飲み物などを紙コップに入れて補充するように勧める）  <u>第3ラウンド 17:30-17:50【名大がこうなったらいいな】</u>          ・簡単に自己紹介をしてから、前にどんな話が出たかを少し紹介する          ・ペンを参加者ひとりずつに渡す。テーマについて話ができるように促す</p>	全体司会 全体誘導、カメラ 各テーブルお菓子補充・飲み物を提供	
17:50	<p>クロージング          ・ひとこと感想シートを書いてもらう（各テーブルに置いておきます）          ・時間的に余裕があったら、感想を数人に聞いてみる          ・プレゼンアワーの広報、スタッフ募集、終わりの挨拶          ・余裕があったら写真撮影</p>	全体司会	



**【10月のコーヒーアワー 自己紹介ビンゴ】**

文責：井上美里

日時・場所：10月20日（木）16:30-18:00 @国際交流教育センター1階ラウンジ

参加人数：約60人

イベント概要：参加者にビンゴシート（両面で日英）を配り、簡単な設問（「何言語話せる？」「朝ご飯には何を食べる？」など）にあらかじめ答えてもらう。イベントの中で交流を楽しみながら同じ回答の人を探し、サインしてもらう。同じ回答の人のサインでビンゴを達成すると、先着で景品のお菓子がもらえる。

実施した感想：自己紹介ビンゴは学期初めのアクティビティとして毎年行っているが、毎回ビンゴシートの質問内容を改善している。今回も、誰もが楽しめる内容となるよう、いくつか設問を変更したり修正したりした。また、直近のスタッフ募集説明会のお知らせも掲載するなど、学期初めのリクルーティングにも力を入れた。初めての参加者も多かったため、親しみやすい雰囲気になるよう、スタッフも積極的に参加した。友達からの紹介や、Facebook、ポスターなどの広報でイベントを知ったという参加者が多かった。今回は途中参加者が多かったが、話題提供のためのビンゴなので途中からでも問題無く会話に加わることができ、盛り上がった。

気づいたこと（改善点など）：ビンゴシートを配ったり参加者名簿に記入してもらったりする必要があり、初めての参加者も多かったため、イベント開始前に受付が混み合ってしまった。今後は、参加人数を見て受付では名簿だけを記入してもらい、名札の作成はロビー内のテーブルにコーナーを設置することも検討したい（その際は名札用テーブルにもスタッフを一人配置する）。途中で参加する人のために、受付や司会者が時々ルールや景品の残り具合をアナウンスした方が良い。また、片付けに時間がかかってしまったので司会者を中心に参加者の帰宅を促すようにする。



## 【1月コーヒーアワー 書道&カルタ】

文責：岩崎絵里加

日時・場所：1月18日（木）16:30-18:00

参加人数：約50人

イベント概要：コーヒーやお茶を飲みお菓子を食べながら、日本の新年の文化を楽しめるよう、書道とカルタを体験できるコーナーを設置した。参加者には好きな方を体験してもらった。書道初体験の留学生にはコーヒーアワースタッフや参加した日本人学生が教え、書き上げたものは掲示板の上に貼った模造紙に貼りつけて、皆で鑑賞できるようにした。カルタは易しい日本語で書かれたものを使った。

実施した感想：今回、偶然にも書道サークルに所属している学生が参加しており、パフォーマンスを披露してくれた。草書を書く様子は留学生だけでなく日本人学生でも見たことがない人が多かったと思うので、披露してもらえてとても良かった。運営スタッフではない留学生がイベントの片付けを手伝ってくれて、とてもありがたかった。

気づいたこと（改善点など）：1人で参加しようとしていた人にとっては、少し敷居が高く感じられたようである。今回は特に、直接会話を促すアクティビティではなかったから尚更だったのかもしれない。今後は、イベント開始時にはスタッフが参加者に積極的に声をかけて雰囲気に馴染めるよう配慮しようと思う。



#### 4. メンバー紹介（大切にしていること、来年度への抱負など）

井上美里 文学研究科ドイツ文学専攻修士2年

コーヒーアワーでは、和やかでいながらクリエイティブでわくわくする雰囲気を大切にしてきました。毎週のミーティングも楽しく和気あいあいとしていて、自分にとってエネルギーをもらえる場でもありました。それぞれの場で活躍している学生スタッフが集まって、素敵なイベントを作り出していくコーヒーアワーが大好きです。6年間スタッフとして活動してきましたが、今年度で卒業となり、さみしい気持ちでいっぱいです。改めて、先生方、事務の方々、スタッフのみなさんにお礼申し上げます。

石垣晋一郎 農学部資源生物科学科1年

留学生と積極的に交流すること、特に本番は臨機応変な行動を心がけています。

これからは、学内の人にもっとコーヒーアワー知ってもらい、初めての人や1人で来た人も楽しめるような企画を作りたいです。

川村彩 工学部化学生物工学科3年

コーヒーアワーのイベントを楽しみつつ、また、スタッフとしての自覚も忘れないで参加してくれた人たちが居心地よく過ごせるように気配りをすることを大切にしています。コーヒーアワーのスタッフになってちょうど一年経ち、また新入生のスタッフも増えたので、先輩についていくのではなく、周りを引っ張っていけるようなスタッフになりたいです。また、コーヒーアワーのゆったりとした雰囲気を大事にしつつ、来年度も無理のない範囲で、今までやったことがないような新しい企画を企画できたらいいなと思います。

佐藤菜摘 文学部人文学科言語学専攻4年

リラックスして楽しみつつ、皆さんにとって新たな交流が生まれるような場を作ることを大切にしています。

木村海里 経済学部1年

コーヒーアワーで大切にしていることは、メンバーみんなで楽しく活動できるような場所であることです。来年はもう少し率先して自分から意見などを伝えていきたいです。

秋山英里 情報学部人間社会情報学科1年

留学生と日本人が交流しやすい場をつくる！

長田恵梨菜 法学部1年

沢山の人が気兼ねなく参加できて穏やかな時間が過ごせるような企画ができるよう、頑張ります！

梅本涼 工学部 1年

来年度もしっかり協力して楽しんでやっていきたいです。

木下悟 生命農学研究科修士 1年

コーヒアワーで誰でも気軽な交流が出来るように工夫を心がけていきたいと思っています！

山道知可 法学部 2年

どの国の人にも楽しんで頂くことで、国際交流に少しでも役立てればという気持ちで、いつも取り組んでいます！

陳宥丞 人文学研究科修士 2年（交換留学生）

コーヒアワーは国際交流の場を設け、出身の違う人に分かり合う機会を作るとても有意義な活動だと思います。これからもよりよいコミュニケーションのために頑張りたいと思います。

岩崎絵里加 経済学部経済学科 4年

約3年間スタッフをしてきましたが、これからももっと楽しいコーヒアワーにしていくために、これまでの慣習にとらわれず、いろんなことを試していきたいです。

神谷柚衣 経済学部経営学科 4年

誰でも気軽に国際交流ができるような環境作りに取り組んでいます。またそうした活動の中で、自分自身も、新しい人たちと出会うことを楽しみに活動しています。

澤田成実 農学部生物環境科学科 1年

日本人も留学生も気軽に参加し、交流を楽しんでもらえるよう、これからも活動を頑張っていきたいです。

# プレゼンテーションアワー 2017 年度活動報告書

総合文責: 嶋田 耕太郎

## 1. 団体紹介

文責: 木下 悟

Presentation Hour (以下プレゼンアワーと省略)は「Small World Coffee Hour」(以下コーヒーアワーと省略)の特別企画として2014年に発足、以来、年2回を目標にプレゼンテーションイベントとして企画・運営する団体である。留学生や一般学生など多様な文化や専門をバックグラウンドとして持つ学生がアイデアを共有する場所を提供することを目的としている。発足以来、プレゼンターの募集やイベントの運営の工夫、マニュアルを作成して組織運営を円滑化することで、年々プレゼンターの参加者応募も増加し規模が大きくなっている。2017年度は、ゲストプレゼンターと呼ばれる外部の社会人や先生にプレゼンテーションを依頼するのを辞め、学生プレゼンターだけでもイベントが充実するよう学生プレゼンター募集に力を入れた。

### 1. 1 理念

留学生、一般学生を問わず、プレゼンターが自分の活動や興味を発信し、オーディエンスがそうしたプレゼンターの活動や考え方を知ること、参加者全員の知見を広げていくことを目標としている。それぞれの文化的背景を考慮した上でプレゼンターとオーディエンス、もしくはオーディエンス同士が交流を深めることができるように心がけている。

### 1. 2 特徴

- ・ 有志の学生が中心となって活動を行っている。(学部・学年は問わない)
- ・ 誰でも参加できるようなオープンなイベントを1学期に1回開催できるように企画・運営をしている。
- ・ プレゼンターには様々な文化や専門をバックグラウンドとして持つオーディエンスに対する配慮(言語、文化、専門知識)をしてもらうことを心がけている。

## 2. 活動紹介

### 2. 1 活動について

- ・ ミーティング

週に1度（毎月3～4回）の頻度でミーティングを行い、約3ヵ月半の準備で1回のプレゼンアワーのイベントを企画している。ミーティングではプレゼンター募集チラシ作り、プレゼンターとの顔合わせ、リハーサル、プレゼンアワー当日のスケジュール相談、イベント当日の役割分担決め、会場のレイアウト決めなどを行っている。各ミーティングでは、議事録を作成し、メーリングリストで流して情報を共有している。

- ・ 広報活動

イベント広報のポスターを、各学部および研究科・国際教育交流センター・生協・食堂などに掲示する。また、留学生相談室から学内の留学生担当者に依頼し、イベント告知のメールを流す。Facebookではイベント前、約一か月間をかけ、プレゼンテーションの内容やプレゼンターの紹介などを行うことでイベント周知を図っている。

## 2. 2 プレゼンアワーについて

- ・ 当日の動き（目安）

15:30	国際棟給湯室にてコーヒーを準備、レイアウトにそって会場設営開始
16:15	受付開始
16:30	イベント開始
19:00頃	イベント終了、写真撮影、懇親会の準備
20:00頃	懇親会終了
20:00	片づけ

### 【7月 第6回プレゼンテーションアワー】

文責：嶋田 耕太郎

「第6回プレゼンテーションアワー ～世界が広がる 20秒～」

日時・場所：7月13日（金）16:30-18:45 @国際棟1階ラウンジ

参加人数：約50人

- ・ イベント概要

初回から各学期欠かすことなく、今回が6回目の開催となった。

今回は学生プレゼンター5人、そのうち3人が日本語で、2人が英語でプレゼンテーションを行った。またプレゼンターのうち1人は留学生だった。プレゼンターはオーディエンスと共有したいことを自由にテーマに選び、大学での研究内容や国際活動などについて話

をした。例として、「農業作物の多様性」や「アイルランドの民族音楽」などがあつた(詳細はプログラム参照)。プレゼンターや参加者が会話・交流できるよう、プレゼンテーションの間に2度 Coffee Break (休憩時間)をとった。また、コーヒーやお茶を用意し、会場のレイアウト、照明、音楽などを工夫することで、参加者がリラックスして話ができるような雰囲気を作るように努めた。

- ・ 実施した感想

経験豊富な上級生のメンバーを中心に、計画的に準備を進めることができた。プレゼンターが一人出席できなくなりましたが、タイムテーブルを再調整して対応した。また、もう一人のプレゼンターが就職活動のため当日会場に来られなくなりましたが、事前録音やネット電話を用いて対応した。上記のようにいくつかトラブルが起きたが、柔軟に対応してイベントを成功させることができた。

各プレゼンターのスピーチは個性的で、どれも興味深かった。第1回から欠かさず参加してくれる人、今回初めてきて満足してくれた人と参加者も様々で、イベントが定着しつつあるという印象を受けた。

- ・ 気づいたこと (改善点など)

今回はゲストを含め5名のプレゼンターでイベントを行った。会場のセッティングを変更し、お菓子や飲み物を乗せたテーブルを中央に配置した。Coffee Break の時間には自然とテーブルの周りに人が集まり、交流の助けとなりよかった。プレゼンの日本語・英語のバランスはとれていた。日本語のスピーチではスライドに英語の説明を加えることで、留学生への配慮ができた。一方で、英語の、特に留学生のスピーチでは日本語の説明を入れられなかったが、簡単な英語で書かれていたので問題はなかったと思われる。また今回、テーマが社会・人文科学や国際活動に少し偏っていたので、今後は幅広い分野からプレゼンターを募集したい。

【11月 第7回プレゼンテーションアワー】

文責：若杉 美穂

「第7回プレゼンテーションアワー ～世界が広がる20秒～」

日時・場所： 11月16日(金) 16:30-18:30 @国際棟1階ラウンジ

参加人数： 約70人

- ・ イベント概要

今回は留学生4名を含む、学生プレゼンター6名が登壇し、2名が日本語で、残りの4名が英語でプレゼンテーションを行った。プレゼンテーションのテーマは第6回と同様に自由で、プレゼンターはそれぞれ趣味や自身の経験に基づくアイデア、自国の文化などについて話をした。具体的には、「自己表現の場としてのInstagram」「インドネシアにおけるLGBTの理解」「アイルランドの13人のサンタクロース」等があった(詳細はプログラム参照)。第6回に引き続きコーヒーやお菓子を用意し、参加者がくつろぎながら話ができる雰囲気を作り出した。学部生、大学院生、留学生と、普段なかなか交流することのない人たちとの気軽なアイデア交換の場として、音楽や会場のレイアウトなどを工夫し、リラックスできるあたたかい雰囲気づくりを心がけた。

- ・ 実施した感想

留学生のプレゼンターも多く国際色豊かなテーマが揃った。幅広い層の参加者を想定し、スライドに表示される単語に日本語での発表の際には英語を、英語の発表の際は日本語を入れることで、多くの参加者にとって聴きやすい発表を意識した。本イベントが学部1年生の授業で紹介されたことで、例年に比べ多くの日本人学生が集まり、賑やかなイベントとなった。日本人学生、特に学部生にとって、留学生と交流し英語での発表を聞く機会は少ないので「貴重な体験だった」という声を多く聞いた。質疑応答の時間も様々な人から質問が溢れ、「アイデアの交流」という趣旨にあったイベントとなったと思う。

- ・ 気づいたこと(改善点など)

事前にスタッフとプレゼンターとで何度か打ち合わせを重ねた。広報としてプレゼンテーションの概要を日本語と英語でFacebookに掲載する際、抽象的なテーマについて英語でのやりとりをする時もあり、翻訳やプレゼンターとのやりとりに苦労することもあった。スタッフ内で担当を決める際、今後は専攻や経験なども加味したい。数名のスタッフが卒業を迎えるにあたり、イベントをスムーズに運営していくために新たなスタッフの獲得も今後の課題となりうるであろう。

### 3. メンバー構成と心がけていること

#### ・ 修士2年

井上美里（文学研究科）

第1回目から続いているプレゼンアワーの楽しさ、ワクワク感、リラックスできる雰囲気を大切にしながら、毎回進化していきたいと思って活動していました。今年度で卒業してしまいますが、この素敵なイベントが5年、10年と続けられればと思います。後輩の皆さんを応援しています。

チンユウショウ（人文学研究科）

プレゼンアワーはプレゼンを通して、自国の文化、思想を伝える場所だと思います。プレゼンと言っても、堅苦しいものではなく、自慢話や、みんなに知ってほしいことがあれば、誰でもプレゼンターになれます。これこそ交流そのものじゃないかと思っています。

#### ・ 修士1年

木下悟（生命農学研究科）

色んなバックグラウンド(文化、専門)を持った人達が自分にとって新しいアイデアを得られる場所にプレゼンテーションアワーがなるように心がけています。

藤原弘貴（工学研究科）

留学の経験を活かして日本人と留学生の交流促進、そして新たな学びの場を作ることには貢献できるよう頑張ります。

#### ・ 4年生

岩崎絵里加（経済学部）

今年度はプレゼンターを推薦したり、院生の留学生のメンターを担当したり、私にとって新たな挑戦がありました。来年度以降も新しいことに挑戦して、初めて来る人にも、リピーターの人にも楽しんでもらえるプレゼンテーションアワーを作っていきたいです。

佐藤菜摘（文学部）

リラックスした雰囲気でプレゼンを楽しんでもらえるようにすること。

嶋田耕太郎（工学部）

参加者全員に満足してもらおうと同時に、自分がイベントを楽しむこと。

廣瀬治佳（情報学部）

年齢性別問わずみなさんが楽しめる居心地のいいイベントにできるよう頑張りたい  
と思います！

- ・ 3年生

川村彩（工学部）

様々な分野のプレゼンが聞けて刺激が受けられる場でありながら、プレゼンターさん、参加者が皆リラックスして参加し、交流できる雰囲気づくり。

吉岡祐太（理学部）

大切にしていることはプレゼンターの考えが出来るだけ多くの人に伝わるようにすること。

- ・ 2年生

若杉美穂（文学部）

新しい人やアイデアとの出会いを楽しむこと。

# 第6回・7回プレゼンテーションアワーの様子

## ・プログラム

PRESENTATION HOUR  
Coffee Hour 特別企画  
**PRESENTATION HOUR** VOL. 6 ~世界が広がる 20秒~  
20枚のスライド×20秒の形式で行われる様々なテーマのプレゼン、  
コーヒーやお茶を片手に気軽に楽しめるイベント。  
今回は6人がスピーカー。  
使用言語は日本語と英語。参加無料、途中参加・退室OK。

2017/11/13 (Thu) 16:30-18:45  
場所◎国際棟 (国際教育交流センター) 1階ラウンジ

*Presentation Themes*

- 野中 なるみ 世界一周の仕方
- 福井 ゆたか ネパールの文化とメンタルヘルスケア
- エスベン ベーターセン 幸せって何? 哲学的な視点から見てみよう
- シマタ エリアバル 虹の向こうがわに
- 木下 穂 農業作物の多様性
- 高橋 歩 Irish traditional music

主催：プレゼンテーションアワー実行委員会  
名古屋大学国際教育交流センターアドバイジング部門 & スモールワールドコーヒーアワーチーム  
問い合わせ先：presentationhour@nims.com  
このイベントは名古屋大学国際教育交流センターの協力を得て開催されます。

Coffee Hour Presents  
**Presentation Hour** Vol. 7 ~20 seconds of Inspiration~  
20枚のスライド×20秒の形式で行われる様々なテーマのプレゼン、  
コーヒーやお茶を片手に気軽に楽しめるイベント。  
今回は6人がスピーカー。使用言語は日本語と英語。  
参加無料、途中参加・退室OK。アイデアの交流してませんか?

2017/11/16 (木) 16:30 - 18:30  
場所◎国際棟 (国際教育交流センター) 1階ラウンジ

**Presentation Topics**

- 島袋 海里 インドネシアにおけるLGBTの理解
- アルゴ・ラレキ リカルドソン アイスランドの13人のサンタクロース
- 中嶋 春菜 自己表現の場としてのInstagram
- キム トヨン フィンランドで冬の旅
- フィカンタイ なぜ人間は未来を考えることが苦手なのか?
- ウルワ ハーシ 自然の神秘

主催：プレゼンテーションアワー実行委員会  
名古屋大学国際教育交流センターアドバイジング部門 & スモールワールドコーヒーアワーチーム  
問い合わせ先：presentation.hour@gmail.com

詳しくは Facebook

## ・イベント当日の様子



## 1. 団体紹介

ヘルプデスクは名古屋大学の交換留学プログラムである NUPACE の交換留学生の学生生活を支援するための留学生支援団体である。新規受け入れ留学生を対象とした春・秋の年 2 回の入寮手続きの補助、学期開始から約 1 か月間、留学生からの質問・相談への対応を行い留学生の日本の学生生活へのスムーズな適応の協力を努めている。また学生間の交流の促進を目指して、留学生の要望や所属メンバーの提案に応じて日本人学生と交換留学生の交流のためのイベントを開催している。この団体は学部生や院生に関わらず多様な専門分野をもつ学生から構成されており、語学力に関係なく留学生の大学生活を支援したい、留学生との交流をしたいという意欲のある学生が多いことが特徴として挙げられる。

## 2. 活動理念

留学生にとって最も身近な存在となり、日々の交流やイベントを通してお互いの文化や考え方、そして思い出を共有し、彼らに名古屋大学に留学してよかった、またこの留学が充実していたと思ってもらえるよう日々の活動に努める。

## 3. 活動報告

### 2017 年度年間活動

3 月	前期入寮支援（受け入れ）準備、ヘルプデスク説明会、歓迎会
4 月	前期受け入れ、通常デスク
6 月	名大祭フリーマーケット
7 月	花火大会
9 月	後期受け入れ入寮準備、ヘルプデスク説明会、受け入れ、歓迎会
10 月	通常デスク、ハロウィンパーティー

### ○受け入れ（前期・後期）

NUPACE 交換留学生の入寮先である名古屋大学国際嚶鳴館の 1 階ロビーにて窓口を設け、鍵、書類の受け渡しを行う。留学生の買い物に付き添う買い物ツアー、初日の夕食を学食で一緒にする夕食ツアーを合わせて行う。以下に詳細を記す。

#### ・入寮手続き補助

日時：2017 年 4 月 3 日・4 日（前期）2017 年 9 月 19 日と・20 日（後期）

場所：名古屋大学国際嚶鳴館ロビー

嚶鳴館入寮学生の入寮・入学手続きの補助を行う。部屋の鍵の受け渡し、オリエンテーション期間中の日程の説明と入学手続きのため、寮から NUPACE オフィスへと誘導。嚶鳴館管理人と自治会学生及び東山レジデン

スの受け入れを担当する異文化交流サークル ACE と連携。

・買い物ツアー

日程：2017年4月3日、2017年9月19日

場所：八事 AEON

生活必需品を備えていない留学生の当面の生活で必要となる食料・日用品の購入のため、寮の近くのショッピングモールまで地下鉄で一緒に移動、モール内の案内をする。

・夕食ツアー

日程：2017年4月3日、2017年9月19日

場所：ダイニングフォレスト

自炊環境が整っていない初日の夜に、大学の食堂で共に食事をして交流を図る。大人数なので食堂の職員の方に前もって連絡をする。

・ウェルカムパーティー

日程：2017年4月4日、2017年9月20日

場所：名古屋大学国際嚶鳴館 1階ロビー

日本に来て間もない留学生に交流の場を設け、充実した留学生活、寮生活の第一歩としてもらう。留学生が日本人の友達を作る機会を作るため、日本人学生も自由に参加できるようにしている。

○通常デスク

日程：2017年4月11日～、2017年10月2日～の約一ヶ月間

場所：国際教育交流センター1階ロビー

新学期開始後の約1ヶ月間、国際教育交流センターのロビーにあるHELPDESKにて留学生の質問・相談に対応した。授業が行われる建物や教室の場所、履修登録の手続き、部活動・サークルへの参加の案内などの質問があった。時間帯によってはデスクに誰もいないときがあるという課題があったので、授業がないときは積極的にセンターにきてデスクに座る、留学生と関わるようにメンバーに呼び掛けたところこの問題はかなり改善された。だが、1限開始前などはなおメンバーが集まりにくいので、特に学期開始後1か月程度、留学生がまだ学校生活になれない時期はシフトを決めて活動することを検討したい。また、この期間中は週1回ミーティングを行い質問された内容を共有し回答ができるようにした。

○名大祭フリーマーケット

日程：2017年6月10日、11日

場所：名古屋大学 第二グリーンベルト

NUFSA と合同でフリーマーケットを行った。各国際交流団体で出

店物品の提供を お願いし、売上より花火大会のための活動資金を獲得することができた。団体間の連携も取れ、活動の 幅を広げることができたので今後も継続していきたい。

#### ○花火大会

日時：2017年 7月 7日

場所：砂田橋駅近くの河川敷

NUFSA と合同で行った。毎年恒例となっている行事で、日本式の花火を経験したことのない留学生には特に楽しんでもらった。当日は30人ほど参加し、後片付けまでしっかりと行った。

#### ○ハロウィンパーティー

日時：2017年 10月 27日

場所：国際教育交流センターロビー

100人以上の学生が参加する、後期最大のイベント。コスチュームコンテストを行い、気合の入った個性的な仮装を楽しむことができた。お酒の提供時には年齢確認を徹底して行い ルールを守って全員が楽しめる会とした。ミーティングを重ね当日のタイムスケジュールや役割分担を前もってしっかりと行ったので、参加者の数が多くてもスムーズに受付や進行を行うことができた。また HELPDESK のメンバー自身も多く留学生と交流することができた。来年以降の今年までに培ったノウハウを活かしてパーティーを成功させたい。

#### 4. 反省及び今後の目標

今年度も NUPACE オフィスと連携し、受け入れ活動や各種イベントを成功させ、留学生 と日本人学生の交流を促進することができた。去年までと比べ、主要メンバーが代替わりして低学年が中心となっているが、ベテランメンバーが助言・監督をきちんとすることで安定したグループ運営やイベント実施が行えている。また留学生もヘルプデスクのメンバーとなり仕事を手伝ってくれることで、日本人学生と留学生の距離がさらに縮まったと感じる。しかし反省点として、仕事を中心メンバーに集中しすぎることが挙げられる。来年度は中心メンバーが他のメンバーにきちんと仕事を割り振り、全員が当事者意識をもって活動できるようにしたい。今後は留学生と身近に交流ができるこの団体の良さを広く伝えていくとともに、他の国際交流団体と更なる連携を取っていくことで留学や国際交流 に興味のある名大生の参加を増やしていきたい。

# 「留学のとびら 2017 年度 活動報告書」

(文責:大淵瑛子、平井智章、村瀬明里、渡辺千晴、村田愛美、野呂文香、太田貴之、羽根良亮)

## 留学のとびらについて

留学のとびらは、名古屋大学学生（以下名大生）の留学支援を目的とした、名古屋大学海外留学室公認の学生団体である。名古屋大学の各種留学プログラムの中でも特に、一学期間以上の長期留学である交換留学のための支援を主な活動内容としている。実際に名古屋大学の留学プログラムに参加した留学経験者や、今後留学をしようと志している名大生によって運営されている。多様なバックグラウンドを持つメンバー同士で、目的達成に向け活発に話し合い、企画を立て、海外留学室に相談し、実行に移すといった自律的かつ活発な姿勢が団体の特徴である。

## 留学のとびらの理念

### 1. 世界を知り世界に通用する名大生の輩出

- 留学を希望する名大生に、情報収集の場を提供し、また留学を検討していなかった学生にも留学の魅力を伝え、多くの名大生の留学のきっかけになる支援をしていく。
- 将来的に世界に向けて活躍する名大生の育成の機会へ繋げる。
- 名古屋大学から派遣される交換留学生の量と質の両方の向上に取り組む。

### 2. メンバーの個性とリーダーシップの発揮

- メンバーの一人一人が個性とリーダーシップを発揮し、互いの成長を刺激し高め合う。多様な価値観を相互に尊重し合い、メンバーの大学生活の充実を支える笑顔あふれる団体であり続ける。

## 設立の経緯と活動

2009年に留学より帰国した学生が設立した「留学のとびら」は、2017年で設立9年目を迎えた（2010年より主要メンバーが卒業・進学等で団体運営が困難になったため海外留学室が主体となり、2010年12月に新たにメンバーを募集して再設立）。留学のとびらの特徴として、半年ごとにメンバーの大半が入れ替わることが挙げられる。半年を単位として、留学の際の渡航、留学からの帰国、就職活動、卒業等が繰り返され半年ごとに雰囲気は新しくなる団体である。メンバーの流動性の高さゆえに短期間で関係を構築する高いコミュニケーション能力が必要とされる。2015年度には学部一年生がメンバーに加わるという現象が見られたが、今年度は渡航前の学生が3人新たに加わったのみである。また、昨年度の一年生メンバーは順調に留学に向け準備を進めており、団体内でのサポート体制が確立してきたようにみえる。

## メンバーについて

2017 年度の終了時点でのメンバーは 28 名であり、増加傾向にある（学部生と大学院生を含む）しかし、今年度の 8 月に多くの学生が留学へと渡航し、活動人数が少し減少した。留学経験者メンバーの留学先国、大学は様々であり、また春派遣交換留学経験者のメンバーも増え、メンバーの多様性は充実している。

前期代表：村田愛美

後期代表：大淵瑛子

## ミーティングについて

週に 1 度、1 時間程度のミーティングを実施。学期が始まる前の長期休暇中にメンバーの都合の良い曜日と時間を集計し決定、前期は毎週水曜日 12:10～12:50、後期は毎週金曜日の 12:10～12:50 に行った（場所は国際棟の教室）。ミーティングの内容は主に、今後のイベントの企画・相談（留とび相談会・ランチ・留学フェア等）、スケジュールの決定、団体としての役割の確認や実施したイベントの反省などである。

## 2017 年度前期 活動内容スケジュール

4 月 12 日（水） 留とびランチ 「留とびを知ってもらおう」

4 月 19 日（水） 留とびランチ 「留とびを知ってもらおう」

4 月 26 日（水） 留とびランチ 「留とびを知ってもらおう」

5 月 31 日（水） 留とびランチ 「春派遣対策」

6 月 7 日（水） 留とびランチ 「春派遣対策」

7 月 5 日（水） 留学フェア

7 月 7 日（金） 春派遣合格者向けオリエンテーション

## <実施結果>

上記イベントへの参加者は主に 1、2 年生が中心で、毎週 1～2 人程度であった。留学一般に関する質問や交換留学への申し込みについての相談、なかでも奨学金に関する質問が多かった。4 月の留とびランチでは、名古屋大学のトビタテ生 2 人にも参加してもらったことで、奨学金に関する細かな質問にも対応できるようにした。反省点としては、なかなか広報に力をいれられなかったため、参加者が少なかったことが挙げられる。前年度からの引継ぎがうまくいかなかったことや、留とびの主要メンバーが 3 月に卒業してしまったために、新学期の活動スタートが遅れてしまったことが原因として考えられる。

## 【留学フェア】

### <概要>

今回で第 11 回目となった留学フェアでは、留学に興味がある学生、留学が決まった学生、留

学経験者をそれぞれつなぎ、学生同士の交流だからこそできるアットホームな留学相談会を実現した。第 11 回留学フェアの具体的な目的は、1) 留学に少しでも興味のある学生には、留学フェアを通して学生視点からの留学する上でのアドバイスをはじめ、留学する意義、留学までの準備、留学先での具体的な生活内容など直接聞き、留学を身近に感じてもらう、2) 交換留学が決まっている学生には、交換留学の先輩からのアドバイスや体験を共有することにより、留学までの時間を有意義に過ごしてもらう、3) 交換留学帰国者には、自身の留学体験を話す機会を持つことで、一度留学体験を振り返りこれからどう過ごしていくか、キャリア形成する上での一考するきっかけしてもらう、であった。

#### <実施日時・場所>

7月5日 16:30~18:30

中央図書館 ディスカバリースクエア

#### <実施内容>

・パネルディスカッション：アメリカ（学部生・院生）、アジア、ヨーロッパへの留学経験者をパネリストとしてお呼びし、交換留学先大学に関する質問から、留学中の生活一般に関する質問まで幅広く回答してもらった。事前に質問内容を伝え、進行役がある程度回答を把握していたため、本番ではスムーズにパネルディスカッションを進行することができた。パネリストも重複しないように慎重に人選を行ったため、様々な留学経験を聞くことができた。また、パネルディスカッション中に参加者から質問を集めて質問タイムを設けたことで、参加者の細かなニーズに合わせることもできた。

・フリートーク：留学地域別に分かれ、留学経験者を囲んで座談会形式で行った。留とびメンバーやパネリストのほかにも、交換留学経験者をお呼びし、とてもアットホームな雰囲気で大盛況であった。参加者それぞれの相談内容によって、時に個別で対応することもあった。また、留学に興味がある学生や留学内定者が留学経験者と個人的に連絡先を交換する様子もみられ、「学生同士をつなぐ」という目的も達成できた。

#### <反省>

ミーティングの参加率が低かったため、メンバー内の情報共有がうまく取れなかったことがあった。そのため、準備期間を効率的に活用することができず、本番直前になってバタバタしてしまった。改善策として、仕事分担をした際にそれぞれの仕事に締め切りをあらかじめ設けることで計画的に準備を進めるようにする必要がある。今回の留学フェアは広報に一段と力を入れたため、前回よりも大幅に参加者を増やすことに成功した。食堂前でいったビラ配りや各建物の掲示板にビラを貼ったことが効果的であった。これまでは海外留学室のメーリングリストや Facebook に頼ることが多かった。そのため、留学室とすでに接点があった学生に周知することはできたが、それ以外の学生にも広く知ってもらうことが難しかったという前年度の反省を活かしている。

## 【出発前オリエンテーション】

### <概要>

2017年秋派遣の交換留学に参加する学生に対しての、海外留学室による渡航前オリエンテーションの一環として実施。交換留学から帰国したばかりの学生から、留学の心構えに関するプレゼンテーションを行った。主な内容としては、“留学の心構え”、“どんなことに気を付けたいか”などの話、留学先での勉強方法や異文化におけるコミュニケーションの話から危機管理の話までを実体験を基に行った。終了後は、自由質問時間とし、質問を受け付けた。

### <実施日時・場所>

2016年7月12日(水) 17:30-18:30

IEEC 201 教室

### <実施結果>

渡航前の英語学習法、留学先での勉強方法や海外におけるコミュニケーションの取り方などを羽根良亮（2016年-2017年フロリダ大学に交換留学）が、危機対応・危機管理の話をも宗宮駿介（2016年-2017年シンシナティ大学に交換留学）が行った。交換留学から帰国したばかりということもあり、新鮮な話を届けられたと思われる。プレゼンテーション終了後も、参加していた学生からの個別質問があった。実体験を基に、最新の情報を伝えられたと思われる。

## 2017年度後期 活動内容

- 8月31日 (木) IELTS 講座にて発表・ワークショップ
- 9月1日 (金) IELTS 講座にて発表・ワークショップ
  - ・留学体験記 6人
  - ・ワークショップ 「大学調べについて」
- 10月6日 (金) 帰国学生・留とび合同飲み会(未実施)
- 10月26日 (木) 留とび相談会 「シラバスを調べよう」
- 11月1日 (水) 留とびフェア
- 11月2日 (木) 留とび相談会 「〆切直前相談会～」
- 11月9日 (木) 留とび相談会 「〆切直前相談会～」
- 11月16日 (木) 留とび相談会 「面接の極意」
- 12月8日 (金) 第1回秋派遣合格者向けオリエンテーション  
「英語勉強法」・「今後9か月どう過ごすか」
- 12月14日 (木) 留とび相談会 「今後9か月の過ごし方」

### <実施結果>

新たな試みをいくつか行った。(帰国者向けの留とびとの合同食事会、後期留とびフェアの規模拡大、留とびランチから留とび相談会への名称変更など) 留学のとびらの実質活動メンバ

一が極めて少なく、ある一定の固定のメンバーのみが準備に携わったため、仕事量の不平等が起こってしまっていた。また、イベントや相談会を開いても少数の学生にしか利用してもらえなかった。この原因が知名度の低下なのか、留学希望学生の現象なのかは明らかとなっていない。

## 【IELTS 講座での発表とワークショップ】

### <概要>

夏の IELTS 集中講座にて留学帰国者の体験談を発表し、語学勉強漬けになっている学生にどのような留学生活が待っているのか紹介した。また、トビタテ奨学金プログラムに興味のある学生が多かったため、トビタテ経験者の学生も体験談を発表した。2 日間にわたって、語学試験向けの勉強が終わった後、次は渡航先の大学選びが重要であるという内容のワークショップも開催した。

### <実施日時・場所>

2017 年 8 月 31 日、9 月 1 日

IEEC 207 教室

### <実施内容>

#### ・体験談

平井智章 ウォリック大学

太田貴之 スウェーデン王立工科大学

大淵瑛子 香港中文大学

野呂文香 リヨン第三大学

岩田至弘 アデレード大学

村瀬明里 セントオラフ大学

#### ・トビタテ体験談

野場悠佑 イリノイ大学アーバナ・シャンペーン校

遠山寛治 ミュンヘン工科大学

#### ・ワークショップ

テーマ：「渡航国の視野を広げよう～協定校を知る～」

数ある中の協定校の中でも、英語圏や、一度志望校を決めたら他の学校は調べないなど、志望先が偏りがちであるため、語学検定取得後のわずかな時間で、視野を広げずに志望校を決めてしまうのではなく、今のうちから視野を広げ、さまざまな協定校を検討してほしいという思いを込めたワークショップを行った。具体的な内容としては、学生をグループに分け、各渡航先地域のイメージを話し合い、そこでの留学生生活を想像した後、実際の体験者からの写真やエピソードで固定観念を壊して視野を広げてもらおう、という事を行った。最終的に気になった大学の HP を調べる宿題も出した。

### <実施結果>

学生達にしっかりと取り組んでもらうことができ、新たな渡航先を知るいい機会を与えられたと思う。語学試験勉強ばかりに集中してしまっていた学生のいい息抜きになり、同時にどのような留学生活を送りたいのか、それはどこの国・学校で行えるのかといった自分だけの留学プランを考えることが重要であるということも伝えられた。また、担当者が留学希望学生から顔と名前を憶えてもらえ、留学のとびらの認知度向上にもつながった。

### 【帰国者と留とびメンバーの食事会】

#### <概要>

留学のとびらの先輩からいかに留学経験を活かして就職活動を行うかのアドバイスをもらったり、仲間と久しぶりに会い、今後いかに留学生活を送るかなどを語る機会を留学帰国者に与えることと、帰国者に留学のトビラへの参加を促すことを目的に、10月に夏に帰国してきた留学経験者を対象に声掛けを行い、留学のとびらのメンバーと食事会を行う。

### <実施結果>

初めての試みであり、夏休み後半に立案したため計画が遅れ、声掛けが実施日2週間前ごろになってしまった。そのため、結果として経験者と留学のトビラのメンバー合わせて2人しか集まらず開催を諦めた。経験者と留学のとびらの両方にとって良い企画ではあるので、来年度は実施を目指したいと思う。

### 【留とび相談会】

#### <概要>

留学経験者がテーマを決めてプレゼンを行ったり、座談会形式で留学経験者が留学志望者の個別の相談に応じたりすることによって学生の留学についての相談に対応する。主な目的は、留学に関心のある学生がいつでも気軽に留学経験者に留学に関する相談や質問をできる場を提供することである。また、メンバー内での経験談の共有という目的もある。

### <実施日時・場所>

2017年10月26日(木)、11月2日(木)、11月9日(木)、11月16日(木)

毎回 12:10~12:50

IEEC 301 教室

### <各回のテーマ>

10月26日(木) 「シラバスを調べよう」

留学志望者が、志望動機書を作成する上で、履修授業を調べるため、どう調べるかをプレゼン方式で情報提供。その後、個人個人で一緒に調べ、相談を受ける

11月2日(木) 「〆切直前相談会」

留とびフェア（11/1 開催）翌日のため、来訪者見込めると考え、少し留学志望書の提出締め切りより前であったが実施。

11月9日（木） 「〆切直前相談会」

11月16日（木） 「面接の極意」

書類の結果が出てくるころに面接に向けてのポイントをプレゼン方式で伝授。その後相談会。

#### <実施結果>

毎週 2~3 人の留学に関心のある学生と、3~4 人のメンバーが参加し、留学に関心のある学生に対する情報提供、不安の解消、モチベーションの向上、さらに留学経験者と繋げるという点において一定の役割を果たした。特に派遣応募前には 8 人の留学志願者が参加し、大学選択などについての相談を行った。課題としては、広報の強化があげられる。

#### 【留学フェア】（後期）

##### <概要>

例年は前期に行う留学フェアと比べて小規模なイベントを後期に実施していたが、海外留学室との話し合いの結果、前期と同規模のイベントを開催することとなった。

留学フェア（前期）と同様、実際に留学を経験した学生たちから直接彼らの実体験を聞く機会を提供することがこの企画の目的である。対象は春派遣での渡航が決まっている学生や、留学に興味がある学生である。

##### <実施日時・場所>

2017年11月1日(水) 16:45 - 18:30

中央図書館ディスカバリースクエア

##### <実施内容>

パネルディスカッション 30分・フリートーク 1時間

##### ・パネルディスカッション

イギリス（B4 院進決定者）・ドイツ（学部 3 年生）・デンマーク（学部 4 年生）・香港（学部 4 年生）への留学経験者をパネリストに迎え、授業や生活一般、現地で行ったインターンなどについて、事前に伺った情報をもとに割振り、お話ししていただいた。

##### ・フリートーク

パネリスト以外にも様々な国への留学経験者に集まっていただき、個別相談の機会を設けた。

##### <実施結果>

参加人数が十数人と前回と比べて極めて少なかった。留学志望先を決めている学生とほとんど情報を得ていない学生で二分されていた。個別の対応はとれたが、フリートークでは留学

経験者が余ってしまった。経験者同士の親睦は深められたため、メリットもあった。今回は参加の事前登録を行わなかったため、開催まで参加人数の予想がつかなかった。前回まで行っていた全学などでのビラ配りを実施しなかったが、これが参加人数の少なさの原因であるかは断定できない。直前に図書館入り口でイベントを知り参加してくれた学生もいたため、誘導に加えて集客の効果もあった。もちろんイベントの広報の方法にも問題はあっただろうが、この2年ほどで、長期留学を目指す学生が減少しており、情報やイベントの提供における需給が一致していないように感じる。参加者が少ないと協力していただく留学経験者に申し訳なく、メンバーの士気も下がってしまうため、留学に興味をもつ学生のニーズを把握し、適切なイベントを実施できるよう、今一度海外留学室と話し合う必要がある。

### 【秋派遣合格者オリエンテーション】

#### <概要>

2018年秋派遣の交換留学に参加する学生に対する、海外留学室による渡航前オリエンテーションの一環として実施。交換留学を経験した学生2名から、渡航までの準備に関するプレゼンテーションを行った。主な内容は、「留学前・留学中の英語力向上法」、「渡航までの時間の有益な過ごし方」であり、プレゼンテーションの時間内で、冬休みや春休みの具体的なプランニングを体験するワークを実施した。

#### <実施日時・場所>

2017年12月8日(金) 17:00-17:30

IEEC 教室

#### <実施結果>

「交換留学の学内選考に合格する」という当面の目標を達成した学生にとって、今後の留学までの生活・留学中の生活に目を向ける機会となったと思われる。特に、実際にスケジュールを考えてみるワークを取り入れたことで、留学までの時間を有効に使うきっかけを与えられたのではないかと考える。ただし、スコア取得に満足せず英語力を向上させ続ける必要性に関しては、真に伝わり切ったとは言いづらく、プレゼンテーション内容の改善などが望まれる。

## 来年への抱負

来年度への課題・抱負としては2点があげられる。

1点目は、安定した団体としての組織作りのために、活動メンバーの増加である。今年度で主な活動メンバーであった学部4年生のメンバーが抜けてしまうため、活動メンバーが極めて少なくなってしまう。留学帰国者が春学期は就職活動で抜けること、新しいメンバーの確保が年々減ってきていることを重大に受け止め、新しいメンバーの募集方法を新しく立案し

ていく必要がある。このままでは海外留学室からの依頼も受け入れられなくなってしまうため、早急な対応が必要である。

2 点目は、取り扱う留学種類の拡大である。今までは主に長期間の交換留学を目指している学生や長期の交換留学経験者を主な対象として活動してきたが、海外留学室が取り扱っている短期留学の充実拡大や長期留学志望者の減少などの現状に対応すべく、短期留学希望者・短期留学経験者も留学のとびらに積極的に参加してもらえよう活動を改善していく。新たな取り組みとして、短期留学を主に紹介する mini 留学フェアなどを考えている。

# English College 2017 年度活動報告書

2017 年度代表 春山 椋

## English College について

English College は、すべての人に英語能力を修養する機会を提供することを目的とした学生サークルである。2017 年度現在の活動としては、昼食を食べながら英会話をする Lunch English を行っている。

English College の前身である Nagoya University English Learning Center (NUELC) は、気兼ねなく英語を話せる場を提供することを目的として、2012 年度に設立された。2013 年度に NUELC は English College と改称され、英語能力の修養を目的に年齢や学年、経歴を問わず学生や大学の教員、一般市民を対象に活動を続けてきた。

## 理念

English College は誰もが楽しんで英語能力の修養に努めることができることを理念としている。従って、English College のメンバー一人ひとり、他のメンバーがこの理念を達成できるように努めるべきである。

## 2017 年度の主な活動

### Lunch English

日時：毎週金曜日 12 時～13 時

場所：名古屋大学 国際教育交流センター 207W 教室

年間総開催数：約 40 回

内容：事前予約不要。所定の時間に所定の場所へ行けば、誰もが昼食を取りながら気軽に英会話できる。毎回およそ三人から、多い時は十数人のメンバーが集まる。ひとつのテーブルあたり五人ほどが取り囲むようにして座る。話題は雑談やクイズ、ゲームなどで、あらかじめ決まっているわけではない。雑談の他には、具体的には次のようなクイズやゲームを行っている。

- ことわざクイズ：司会者はウェブサイト “The 50 most important English proverbs” <<http://www.phrasemix.com/collections/the-50-most-important-english-proverbs>> にある英語のことわざをホワイトボードに書き、参加者はその意味を推測して英語で説明したり、似た意味の日本語のことわざを答えるクイズ。

- 汝は人狼なりや?: iPhone アプリ「ワンナイト人狼」<<http://werewolf.mogmet.com/>>などを使う。基本的に参加者は人狼陣営と村人陣営に分かれ、ゲーム中で必要な議論を英語で行い対戦するゲーム。

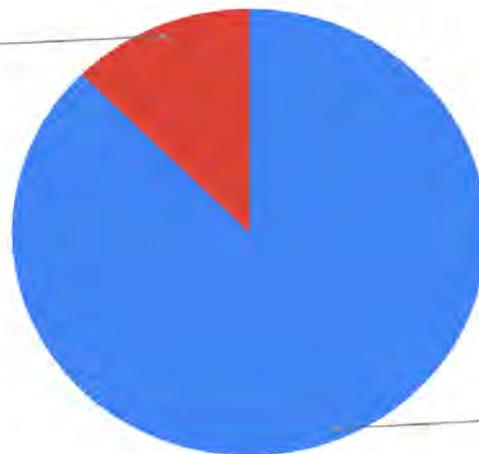
## アンケートの実施

English College ではメンバーへの連絡手段として Facebook Messenger のグループ・チャットを利用しており、その中で 2017 年 7 月 7 日に活動に関するアンケートを行った。当時の総メンバー数は記録にないが、8 名がアンケートに参加した。アンケートの質問と解答は以下のとおりである。

1. Which day and time is convenient for you in lunch time (12:00 ~ 13:00)?

8 responses

Wednesday  
12.5%

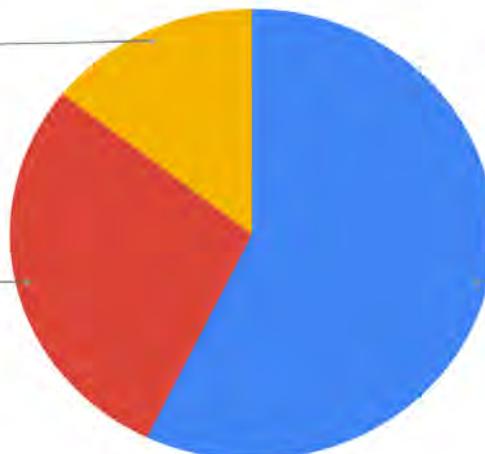


Friday  
87.5%

2. Which day and time is convenient for you on afternoon (13:00 ~)?

7 responses

Saturday  
14.3%



Wednesday  
28.6%

Friday  
57.1%

### 3. What kind of activity do you want in English College? What are you interested in?

7名の解答があった。そのうち、会話 (Talk, Chatting) という解答が最も多かった (3名)。他にはゲームやディスカッションという解答があった。

この結果を踏まえ、新年度に向けて新企画を検討中である。

#### 広報

English College は広報の一環として Facebook ページを持っていたが、管理者権限を持っていた前任の投稿者がみな大学を去ってしまったため、長らく機能していなかった。しかし今年度 2 月に現代表の春山が管理者権限を受け継いだので、新年度を迎えるにあたって広報を開始する予定である。

#### 参考

本報告書を作成するにあたって、前年度以前の English College の活動報告書を参考にした。国際交流グループ活動報告書のアーカイブはウェブサイト「名古屋大学 国際教育交流センター アドバイジング部門：国際交流グループ」

<<http://acs.iee.nagoya-u.ac.jp/program/introduction.html>> から閲覧できる。特に設立初年度の活動報告書は多くの反省がなされており、後の世代が English College を運営していく際に有用であると思われるので、後世の代表は参考にされたい。

# 異文化交流サークル ACE 2017 年度 活動報告

文責：若杉美穂、井上媛賀

## 1. 団体紹介

### (1) 活動概要

ACE (Action group for Cross-Cultural Exchange) は、「交流・架け橋・ボランティア」を三大理念に掲げ、新入留学生をサポートすることを主な活動とするサークルである。1988年6月に結成され、約30年の歴史を持つ。

現在は、留学生の日本での新生活をサポートするための受け入れ活動を主軸とし、さらに留学生と日本人学生の交流イベントを定期的に企画・運営している。普段の活動としては、毎週月曜日の夜にインターナショナルレジデンス 東山の会議室を借りて、ミーティングを行っている。ミーティングではイベントについての連絡や話し合いを行い、進化していく団体を目指して、日々活動を続けている。

### (2) 組織編制

学部1年生から大学院生まで、メンバーは総勢100名以上にのぼる。メンバーの大半は名古屋大学生で構成されているが、南山大学、金城学院大学、椙山女学園大学、名城大学等の近隣の大学からもメンバーが集まっており、全体の人数も年々増加傾向にある。

団体の中心学年は学部2年生であり、毎年6月に行う「まじめ合宿」で代替わりを行っている。2017年6月からは「30代」(現2年生)が中心となり運営をしている。30代の役職の種類、人数、内容は以下の通りである。

役職	人数 (人)	内容
代表	1	ACEの活動全体をとりまとめる、毎週のミーティングを中心となってすすめる
副代表	2	代表をサポートしながら運営を進める
会計	1	ACE資金の管理を行い、収支のデータをまとめる
会計補佐	1	会計の仕事をサポートする
Facebook 広報	2	Facebookでイベントの広報を行う
AFSA 班	4	月1回行われるAFSA(愛知留学生会)会議に参加し、AFSAが主催するイベントの運営に携わり、サポートを行う
ACE メール・メーリングリスト	1	ACEメール(他団体やACEへの参加希望者からの連絡が届くメール)・メーリングリスト(ACEメンバーへの情報共有のために一斉送信されるメール)を管理する

ホームページ	2	ACE のホームページを更新し管理する
議事録	2	毎週のミーティング後に、その日の議事録を ACE メンバーに共有する
CCH 管理	3	CCH (レジデンス東山内の部屋) を管理する

### (3) 受け入れ活動

ACE の活動の中で最も重要とされているのが、この受け入れ活動である。受け入れ活動とは、4月と10月に新たに名古屋大学に入学する留学生の新生活をサポートする様々な活動の総称である。

現在行っている具体的な活動には、レジデンス受け入れ(東山・山手・桜山・妙見)、キャンパスツアー、バザー(NUFSA と共催)、ウェルカムパーティー(NUFSA 支援)、遠足、おしゃべり散歩、パンフレット作製などがある。

これらの活動を通し、留学生の支援だけでなく、留学生同士または留学生と日本人学生が交流する場を提供できることから、ACE メンバーの活動実施意欲も高い。

## 2. 2017 年度 ACE 活動報告

### (1) 年間イベント一覧

- 4月 受け入れ活動 新歓活動
- 5月 World tour×NAGOYA
- 6月 まじめ合宿 Dinner Together
- 7月 七夕パーティー Water Fighting
- 8月 キャンプ ラフティング
- 9月 受け入れ活動
- 10月 受け入れ活動 30代企画 ハロウィンパーティー
- 11月 運動会 食品サンプルづくり 紅葉狩り 日本料理対決
- 12月 巻きずしづくり 留学生の夕べ 1・2年ミーティング
- 1月 お正月イベント
- 2月 スキー NCO
- 3月 春企画 お花見

### (2) イベント概要

ACE が最も大切にしている活動は留学生の受け入れ活動であるが(前述)、留学生との交流の場を継続的に確保したり、留学生に日本文化を紹介したり、ACE の活動の向上のために設けられたりする企画など、一年を通じて絶え間なく活動を行っている。本年度の各イベントから一部抜粋して、概要をここにまとめることにする。

### ○まじめ合宿

ACE の中心学年が 3 年生 (29 代) から 2 年生 (30 代) に交代する (「代替わり」と呼んでいる)、1 年の中で最も ACE メンバーが多く集まるイベントである。本年度は 120 名を超える参加があった。この合宿にあわせて、毎年 ACE やメンバーに関する冊子も作られている。新入生と交流を深めるレクリエーションや新旧中心学年のメンバーが挨拶をする時間もある。にぎやかで楽しいお祭りのようなムードの中にも、長く続く ACE の歴史を感じられる合宿である。

### ○七夕パーティー

1 年生が主体となって計画する最初のイベントであり、毎年多くの参加者を集めるイベントである。名古屋大学インターナショナルレジデンス東山の一階を借り、流しそうめん、かき氷、たませんをふるまったり、浴衣の着付け体験、水風船釣りや風鈴づくりが体験できるブースを用意したりした。日本人学生、留学生合わせて 179 名が来場するにぎやかなイベントとなった。

### ○Water Fighting

名古屋大学留学生会 (NUFSA) と合同で開催したイベントである。川名公園にて、水鉄砲や水風船などを使用するスポーツイベントであった。昨年度 ACE 単独で開催したものが人気を博し、NUFSA の呼びかけで合同開催が実現した。テスト間近だったにも関わらず、日本人 18 名、留学生 19 名が参加した。

### ○ラフティング

本年度はじめて行ったイベントである。夏休みに留学生と一緒に楽しめるアクティビティ体験の場を求めて、日帰りで岐阜県・長良川に出かけた。夏休みで留学生も旅行に出かけている時期ということもあり、日本人 9 名、留学生 2 名の小規模なイベントであったが、夏にぴったりのレジャーで非常に満足度の高いイベントであった。

### ○30 代企画

ACE での中心学年が現 2 年生に交代して半年を迎えるにあたり、ACE メンバー同士の交流を深めたり、今一度 ACE の活動を見直したりする場として、愛知県美浜町の宿で 1 泊 2 日の合宿を行い、学部 1 年生から大学院生まで 53 名が集った。現 2 年生 (30 代) 全員で企画を進め、それぞれが役割を果たしながら、何度もミーティングを重ね、2 年生 (30 代) から ACE へ向けたメッセージを詰め込んだ合宿であった。具体的な企画としては、本年は新入生が例年に比べ多いことを意識して、学年間の交流を深めるために、学年ごとに指定された曲に振り付けをして発表するものや、「留学生と交流しやすい企画づくり」や「イベントの反省をいかに生かしていくか」についてグループごとに話しあうものがあった。自分の ACE への関わり方を見直すよい機会になったと思われる。

## ○運動会、食品サンプルづくり、日本料理対決

本年度は、Together 企画（後述）を中心とした留学生とのカジュアルな交流の場を多く設けることに尽力したことも影響し、その他イベントの種類が少ないという声が上がった。これを受けて、秋に来た留学生の生活が少し落ち着く 11 月に毎週末イベントを開催し、現 2 年生が担当した。準備期間が 1 か月と短かったにも関わらず、各々の個性が詰まったバラエティ豊かな企画となった。

## ○留学生のタベ

愛知県留学生会 AFSA の手伝いとして、名古屋学芸大学 ICC とともに毎年参加をしているイベントである。留学生が自国の文化を紹介するパフォーマンスを繰り広げたり、ブースを用意したり、留学生が主役の、私たちにとっても学び多いイベントである。広報の効果もあり、高校生や地域の方々も多く来場されるイベントである。残念ながら本年度が最後の開催となってしまったが、今後もこうした留学生主体の場を用意できたらと思う。

## ○1・2 年ミーティング

本年度の試みで、1 年生が来年度 ACE の中心学年になるにあたり、現在の中心学年の 2 年生から引き継ぎをする場を設けた。35 名の参加があり、真剣なまなざしでの話し合いが行われた。2 年生にとっては後輩の熱意に触れ、気を引き締める時間であり、1 年生にとっては、来年度の活動に向けて意欲を高めるのに有意義な時間になったと思う。

### （3）今年度の活動目標

1 年で中心学年が交代していく ACE は、毎年その学年の色がでると言われている。本年度の活動の核となる団体目標は「みんなが好きな ACE づくり」「中心学年の現 2 年生全員が主役になれる場所」であった。

前者に関しては、メンバー間の関係づくりに重点を置いた。新入生が多く、学年を超えた交流がなかなか進まなかった状況を受け、週に 1 度学内の食堂で一緒に夕食をとる機会をつくったり、ミーティングの最後に全員が自己紹介をする時間を設けたりした。ミーティングも会議室の使い方を工夫し、司会者（代表）から全員の表情が見えるようにし、メンバーの考えていることを汲み取ることができる環境づくりを行った。ミーティングの様子を録画し改善を重ねながら、「言いたいことが言える」話し合いの場を目指して、現在も試行錯誤を重ねている。

後者に関しては、最も顕著な企画が 2 年生全員で企画した 30 代企画であるが、そのほかにも、本年度はイベント数が多かったにも関わらず、2 年生から担当希望の立候補が絶えず、スムーズな運営が可能になった。昨年度はミーティングで意見することも少なかった学年であるが、本年度は話し合いにも積極的で、ひとりひとりが自分のできる ACE への関わり方をしてくれていた。代表や副代表任せにすることなく、みんなで協力してつくりあげようという姿勢を常に見せてくれた彼らの存在があって、はじめて本年度の運営は成り立ったと考え

ている。

#### (4) 今年度の新たな取り組み

ACEは設立30年を迎えるわけであるが、長く続く伝統を大切にしながらも、私たちは日々進化を続けている。今年度の新たな取り組みとして、ここでは「Together」という企画を取り上げたい。

##### ① 立ち上げの背景

前述の通り、ACEは受け入れ活動のない時期にはベントを開催している。こうしたイベントは、ACEメンバーの中から、毎回担当者を決めて広報や準備にあたる。一方で、その負担が偏ってしまったり、担当希望者が出なかったりと苦勞することもある。こうした事情もあるため、活動の実施は月に1回のペースが限界であり、開催できる時期も限られていた。

「もっと留学生と仲良くなりたい」、「日本人と留学生とが定期的に交流できる場がほしい」という声を受けたことから、気軽な交流の場を設けることを目指して、今年度「Together」というイベントを立ち上げることにした。

##### ② Together 企画の概要

- ・担当者を作らず、日程調整から企画の改善の話し合いまでミーティングの場で行う
- ・「一緒に夜ごはんを食べに行く」「スーパーと一緒に買い物に行く」という身近で手軽な内容ではあるが、月2回を目安に、定期的な交流の場を提供する
- ・大規模なイベントの直後に開催することで、継続的な交流を可能にし、友達になりやすい環境を作る

特に夜ごはんを一緒に食べに行くというのは、授業後に気軽に参加できることもあり、留学生や特に学部1年生からの人気が高い企画であった。企画の担当を決めないことで、日本人学生があわただしい時期でも絶やすことなく1年間開催ができた。また、誰の負担になることもなく交流の場を提供できるため、定期的な開催が可能になった。せっかく日本に来たから日本人と交流したいと思っている留学生に、日本人と触れ合ったり、日本人の生活を垣間見たりするいい機会提供につながる企画になったと考えている。

### 3. 来年度に向けて

まず留学生にむけた活動に関しては、本年度始動したTogether企画は、試行錯誤の末、ようやく形になってきた。ただこういうときに起こりうるのが「マンネリ化」という問題であり、実際開始当初に比べて参加者数が減ってきたのも事実である。日々進化を続けることが求められると感じる。

つぎにACEの組織自体に関しては、この3月で多くの学部生、大学院生が卒業し、来年度は一気に平均年齢が下がると見込まれる。上級生がACEでの中心学年を終えたあとも残り、後輩をサポートするというのは他の団体には少ないACEの珍しい特徴であったが、来年度、

再来年度に多くの卒業生を送り出すことから、これから数年は ACE の雰囲気や体制が大きく変わることとなるだろう。

6 月に ACE の中心学年が現 1 年生に変わったあと、彼らは彼らの描く ACE 像を追い求め邁進し、現 2 年生以上は、私たちの先輩が残してくれたようなあたたかい ACE を、後輩たちに残すべく、建設的な行動を心がけていきたい。留学生の支援においても、ACE という組織運営においても、誰かがやってくれるのを待つのではなく、「誰かのために」そして「自分の好きな場所をつくるために」個々の自発的な行動が求められていくだろう。

# 名古屋大学留学生会 Nagoya University International Student Association (NUFSA) 2017

Authors: Vincent Lee, Mehriban Ahmadova, Tingfang Que, Razel Navalta, Urwah Khan, Pramuditha Gamage, An Hao Chai, Sarah Nguyen

## 1. About NUFSA 名古屋大学留学生会について



Nagoya University International Student Association (NUFSA) is a diverse and cultural student led organization founded by Nagoya University in 1985. Primary objective is to bring together all international students enrolled in Nagoya University and visiting scholars. Our mission is to create a sense of community by facilitating intellectual, cultural, and social exchanges among international students, faculty and staff. We also foster understanding of diverse cultures and help to develop a cosmopolitan outlook among foreign students, and between foreign students and Japanese students. Finally, we serve as support to incoming international students in adjusting to their new cultural setting in Nagoya and creating opportunities for networking.

### ❖ Name 名前

NUFSA is short for Nagoya University International Student Association (名古屋大学留学生会). It originally stood for Nagoya University *Foreign* Student Association. However, in 2015, it was decided that the association would be renamed to Nagoya University *International* Student Association (while keeping its initial abbreviation – NUFSA) to embrace global and international student base of Nagoya University.

### ❖ Executive Board

- President: Vincent Lee (Brazil)
- Vice President: Mehriban Ahmadova (Azerbaijan)
- Treasurer: Tingfang Que (China)
- Social Media Manager: Luiza Nakamura (Brazil)

## 2. Membership

NUFSA membership is free of charge and can be granted to any international students (foreign and Japanese) enrolled in Nagoya University, regardless of their nationality, major, schools, degrees, etc. To be able to join the group and participate discussion for existing events or to bring new ideas all is necessary to do is register at [nufsa.nagoya@gmail.com](mailto:nufsa.nagoya@gmail.com)

### 3. Networking

Please find us @:

Facebook: <https://www.facebook.com/nufsajp/>

Email: [nufsa.nagoya@gmail.com](mailto:nufsa.nagoya@gmail.com)

### 4. Support

NUFSA is receiving support from various organizations. We are financially supported by Nagoya University Foreign Student Support Association and we regularly receive technical or organizational support from Nagoya University International Education and Exchange Center Advising and Counseling Services. We also collaborate with volunteer groups (ACE, YWCA, Tomodachi-kai) for organizing activities such as bazaars, welcome parties, etc.

### 5. Activities

#### ❖ Orientations for Incoming International Students

NUFSA participates in orientations for incoming international students held in student residences (International Residence Higashiyama, International Ohmeikan House, International Residence Yamate, Ishida Memorial International Residence Myoken, Idaka-cho Residence, Foreign Student House). The purpose is to introduce ourselves to newcomers and give them first necessary information and tips for daily living and university activities.

#### ❖ Bazaar

Every beginning of semester, in April and October, NUFSA, in collaboration with ACE Tomodachi-kai, and YWCA, holds a bazaar at Nagoya University International Residence Higashiyama. The purpose of the event is to help international students to start up their lives in Nagoya University. During the event, daily life items, electrical appliances are sold at a bargain price and over 200 customers are expected every semester.

The bazaar is one of the most popular and traditional events among international students, and it has completed its 30th anniversary in 2017. Through close cooperation between several associations, clubs, professors and staffs from Nagoya



University, customers and not to forget the families and companies that donated goods, NUFSA has been able to continue the event for this long. NUFSA is very thankful for everyone who has taken part in the Bazaar, and we look forward to increase even more its history.



### ❖ **Welcome Party**

A Warm Fall Welcome!

Every semester, NUFSA and ACE make sure that new students are warmly welcomed into the Nagoya University life. This fall, we hosted over 300 students from all over the world, who are studying in Nagoya. Our main objective was to create a laid-back and enjoyable, time and space that can supersede awkward first meetings, and overwhelming school life. It is one night of fun and laughter, as new and old students gather. It is undeniably the music, dancing and good food that breaks walls and barriers during this night that makes it possible for new friendships to begin. For those who attended, thank you for rocking this night with us. Don't miss your chance to meet new faces every semester, follow our Facebook and Instagram for more exciting events!



### ❖ **Otsukaresama party** バザー・ウェルカムパーティー協力者とお疲れさま会

We also organize a thank you party for ACE members for always helping NUFSA and providing support for the members in organization of bazaar and welcome party. Here, NUFSA and ACE members become closer in a relaxed friendly atmosphere.



### ❖ **Waterball fight**

Beating the Summer Heat!

On July 15<sup>th</sup>, NUFSA together with ACE organized a Water Fight event in Kawana Park. Around 50 people gathered, ready to get wet and win the ultimate prize. Armed with water guns, balloon grenades and strategic game plans, the battle lasted for 4



hours among 5 teams. Even as the game finished, these warriors did not want to waste the remaining water balloons and played for fun. More than the thrill of the game, it was friendships and smiles shared that proved the success of the event. We are looking forward to having you next summer, as the next Ultimate Water Fight begins! Join us!

### ❖ **Tandem**

Since year 2016 we have launched new project called Tandem, which is an opportunity for those who are willing to master a language (or two) and even get accustomed with cultural nuances by communicating with native speakers. Tandem, basically, means having two or more individuals with skills they can share with one another. Just fill out the questionnaire form providing information about the languages they know and the languages they are wishing to excel at. NUFSA will connect you with the partners they best match with.

### ❖ **Cinema club**

Cinema club is another newly launched monthly event (free of charge), which is held at Craig's Café. We choose a country or topic for the movie, hear your choices, let you vote and enjoy watching great movies. It is a great opportunity to discover international films from different parts of the world, learn new cultures, take a break from studies in a cozy environment among friends and peer movie enthusiasts.

### ❖ **Fall 2017 Recruitment event**

The Recruitment event was held at Craig's café and attracted students from all the faculties with different interests and characteristics. People had the chance to know more about each other and make new connections. The party itself delivered a very relaxing and welcoming atmosphere, being such a reflection of NUFSA's culture. Overwhelmed with the delicious food and the friendliness of the members, participants enjoyed themselves while getting more interested in the upcoming activities held by the organization. At the end of the party, NUFSA was able to recruit very interesting and committed new members.

## ❖ Creating a Global Impact with St. Gallen Symposium

In accordance with our goal to bringing more opportunities for international students to widen their horizon globally, NUFSA co-facilitated an Information Session with the St. Gallen's Symposium Essay Writing Contest. The event was open for graduate students of Nagoya University, where they were given the opportunity to know more about how they can be one of the Leaders of Tomorrow delegates for the 48<sup>th</sup> St. Gallen's Symposium that will be held on May 2nd-4th, 2018. By submitting an essay on the theme: 'Robots are coming for your job. How do you augment yourself to stay economically relevant?', they are given a chance to, not only go an all-expense paid trip to Switzerland, but also to share your ideas to Prime Ministers, CEOs, Nobel Laureates and other global leaders from all over the world. We hope that you were able to catch this event. In case you missed it, follow us on Facebook and Instagram, to learn more about opportunities like this.



Students and young leaders present their ideas to Prime Ministers, CEOs, Nobel Laureates, and other global leaders at the St. Gallen Symposium.

Robots are coming for your job.  
How do you augment yourself to stay economically relevant?

CREATE AN IMPACT | TRAVEL TO SWITZERLAND  
ALL EXPENSES PAID | MEET TODAY'S LEADERS  
WIN CHF 30,000 | JOIN A GLOBAL COMMUNITY

Students, apply now:  
[www.symp.sg/apply](http://www.symp.sg/apply)  
Closing date: 1 February 2018



St. Gallen Symposium

## ❖ Academic Activities

NUFSA organizes, with the assistance of professors and staff of Nagoya University, a Japanese language course for Nagoya University students and their family members as part of supporting the integration process of the international residents.

The Japanese courses are supported by Nagoya Sakae Lions Club, they generously purchase the textbooks used in the class as well as provide the language teachers. In order for the family members of the Nagoya University students to truly being able to concentrate on the language studies, babysitters are looking after the children in another room allowing full concentration during class time. Without the support of the Hiroba volunteer by providing the babysitters many family members would not be able attend this class.



## ❖ **New Members Reception**

Members who have recently joined the NUFSA (Nagoya University Foreign Students Association) were invited to the exclusive New Member Reception, an eagerly anticipated calendar staple.

Sequentially, a New Members Reception was held at an Italian Restaurant the GRAN PIATTO on November 03, 2017. New members attended the evening, hosted by the President Vincent Lee (Brazil) and VP Mehriban from Azerbaijan.

The society hosts a New Member Reception each year to honor our newest members and welcome newly joined students from different countries to the NUFSA community, as well as give them an opportunity to mix, mingle and learn more about its activities in and outside the university.

After greeting each new member, we gave each a nametag and a flyer of upcoming events. Now it was time for each new member to meet the society members, have their questions on the association's many programs and events answered. They were encouraged to share stories about themselves. The event chairs as well as all the members in attendance did their best to answer every question and also spice up the conversations with a few stories about their time in Japan. Next on the agenda was the regular monthly meeting.



We had an exciting time – first getting to the GRAN PIATTO and then meeting the group and listening their enthusiastic and interesting stories. We hope to see much more of these new members at future NUFSA events.

## ❖ **Models of Peace and Diversity: NUMUN 2017**



Nagoya University, July 22<sup>nd</sup> – The first ever Nagoya University Model United Nations 2017 in collaboration with NUFSA ended with a rousing success in the Asian Legal Exchange Plaza.

The conference which aims to imitate United Nations work sessions allow participants to analyze and find possible solutions to the problems on the United Nations agenda. Around 60 participants who were assigned to 35 different countries attended the mock conference. They were then divided between two committees: The General Assembly and the Security Council, each with their own theme which was deliberated upon.

Under the topic of climate change and the fight against ISIL for the latter, the delegates had to research the topics relevant to their representative countries and project their country's interests in the conference. By the end of the conference, delegates are required to draft and vote for resolutions before adopting them. Being one of the attendees myself, NUMUN is an excellent learning opportunity to learn about the world, encouraging teamwork and fostering friendship. It is an event that can be held again.

Though no special knowledge or previous experience was required, applicants are expected to have an interest in the UN approach to global affairs. All proceedings were conducted in English.

## ❖ **NUFSA live music**

NUFSA live music event was organized as an entertainment event for Nagoya university students and as a platform to introduce multicultural music concepts to the audience. So far, 3 NUFSA live music events have been conducted. 23 and NGB two musical bands originated in university campus, made by university students, has performed in the past events which were held in Craig's cafe, Nagoya university.

## ❖ Firework events

Playing fireworks is one of the best outdoor activities for students to communicate and know each other, and it is also a popular event every summer in Japan. In 2017, NUFSA held Fireworks parties twice.

The first time NUFSA collaborated with our friends from HELP DESK and co-organized their traditional Firework event. The event was held near a riverside at Sunadabashi station and International students had the opportunity to experience the traditional Japanese firework.



The second time was held on September 18th at Kawana Park. We used the fireworks left from the last event. People who joined this time were mainly NUFSA members. It was a great event that made NUFSA members more connected.



## 6. 2018 NUFSA event plans

NUFSA collaborate with several other associations and organize events for international students, thus offering a platform for making friends and supporting cultural exchange. In the year of 2018, we will keep adhering to our main objective to promote and enhance international awareness, cooperation, cultural diversity and dialogue among international students. Looking forward to reinforcing the international community at Nagoya University, we plan to hold various and colorful events in 2018.

Here is a preview of how our year will be:

January	Cinema Club (Iranian Movie)
February	Cinema Club (Theme TBD)
March	Collaboration event with COFSA (Japanese snacks making in Inuyama) Cinema Club
April	University-wide & Dormitory Orientation Spring Bazaar Spring Welcome Party

	Cinema Club (Theme TBD)
May	Sports Event (Futsal) Recruitment Event Cinema Club (Theme TBD)
June	Meidaisai NUFSA Trip to Takayama (Destination Pending) Cinema Club (Theme TBD)
July	Sports Event Cinema Club (Theme TBD)
August	Cinema Club (Theme TBD)
September	Cinema Club (Theme TBD)
October	University-wide & Dormitory Orientation Fall Bazaar Fall Welcome Party Cinema Club (Theme TBD)
November	Sports Event Recruitment Event Cinema Club (Theme TBD)
December	NUFSA Trip (Destination TBD) Year-end Party Cinema Club (Theme TBD)

Note: some events might be subjected to change